

新潟県高等学校教育研究会 商業部会

新潟県立新発田商業高等学校
教諭 大竹賢造

- 1 期 日 平成28年10月20日(木)
- 2 会 場 新潟県立新発田商業高等学校
菊水酒造株式会社
- 3 主 催 新潟県高等学校教育研究会
- 4 参加校 8校 15名

5 日 程

受 付	9:50~10:00
開 会	10:00~10:10
施設見学・講演	10:30~12:30
授 業 見 学	13:35~15:25
研 究 協 議	15:35~16:05
閉 会	16:05~16:30

(1) 施設見学

「菊水日本酒文化研究所」を見学した。良いモノづくりを基盤としながら面白いコト作りを追求すること、そして「モノ」と「コト」の融合で日本酒を面白くすることをテーマに設立され、ユニークな設計施工となっていた。地上部分は1階のみ、あとはすべて地下になっており、建築部材については健康を害するもの、環境を侵すものは使用せず、生産履歴の明確なものを使用していた。



また、研究所の5つの機能として、研究・開発機能、

製造機能、人材育成機能、情報発信機能、交流機能を持ち、特に人材育成機能では節五郎蔵（創業者高沢節五郎の名をつけた蔵）では自動制御機器を排し、昔ながらの酒造りの道具を用いて酒を醸せる人材を育てることを目標として、古の技の体得と新しい技への挑戦を行っている。

(2) 講演

生産部製造アシスタントマネージャー 伊藤淳様、営業部マーケティング チームリーダー長谷川洋平様より『若者を日本酒で感動させたいプロジェクト』の商品「J23 KIKUSUI」の販売についての講演があった。「J23 KIKUSUI」は、30歳前後の次の世代のお客様をターゲットとし、最高スペック（原料・技術・製法）を投入して、味・香りの感動を実現するお酒を造ること。日本酒との最初の出会いが日本酒の印象を決めるため、お酒（モノ）を楽しむ場所、料理、音楽（コト）の含めた新たな販売方法を採用した。それがクラウドファンディングである。「MAKUAKE」（プロジェクトのWebサイト）を利用し、¥4,516,200を集め、サポーターは658人となった。「J23 KIKUSUI」は精米歩合23%（77%も米を削っている）の最高品質の日本酒である。限界まで米を削っているため発酵力が少なく、お酒になるのかという心配もあったが、味は香りが高く、フルーツのような感じとなった。味には好みがあるがインパクトのあるものにしたいという意向が強かった。また、ボトルデザインは公募し、造り手への共感、デザインへの感動を得られるように工夫した。



「J23 KIKUSUI」

酒質：純米大吟醸
精米歩合：23%
原料：米(国産)/米こうじ(国産)
使用米：酒米「菊水」
容量：500ml

価格：4,800円(税込・送料込)

ご購入：20~45歳のお客様
数量限定販売品



(3) 授業見学

① 科目：「総合実践」情報処理科3年 38名

② 内容：楽天IT学校

「楽天IT学校」は楽天の角田藍美様の指導で、授業を行い、ネット・ショッピングモール「楽天市場」の店舗運営ノウハウを学生向けにアレンジした新しいスタイルの授業である。

高校生にインターネットの可能性・ビジネスチャンスの広がりを理解させるため、「楽天市場店舗・楽天トラベル施設」×「学校」×「楽天」の3者連携により実施する、電子商取引の取り組みである。一年間に及ぶネット販売に関する授業を通して、高校生にインターネットの可能性やビジネスの楽しさ・厳しさを伝えることで、高校生のアントレプレナーシップ育成による雇用創出、地域創世への寄与を目指している。

今回のテーマは「販売ページを画像で完成させる」というものであり、1クラス38名を7班に分け、班ごとにプレゼンを行った。各チームの改善したページ案を発表し合い、店舗様(アウトアの九蔵)の体験からページの改善点を見つけ、売れるページに仕上げるのがポイントであった。



(4) 研究協議

① 「総合実践での各校の取り組みについて、同時同業の取引はどの学校でもやっていると思うが、それ以外で取り組んでいることはあるか。また、体験的学習や学校外との繋がりなどはあるか。」

- ・同時同業と電子商取引 (Bit-school) (新潟商業)
- ・総合ビジネス科は同時同業と電子商取引 (Bit-school)、情報ビジネス科は流通総合 (選択科目) でCATをやっている (長岡商業)
- ・同時同業のみ (三条商業)
- ・商業科は同時同業と電子商取引 (Bit-school)、情報処理科は楽天IT学校 (新発田商業)
- ② 課題研究の講座はいくつあるか
- ・ビジネス英語、ハングル語、中国語、時事研究、ケーススタディ、ビジネスマナー、ビジネス会計、公共サービス、経営情報科学の9講座 (新潟商業)
- ・商業科目を履修していることを条件として、資格取得と調査研究の講座がある。資格取得は前期1つ、後期1つ資格を取得することを目標とし、調査研究は各自でテーマを決め1年をかけて調査し、最後に発表する。(柏崎総合)
- ・キャリアコース選択者のうち情報処理を履修していることを条件とし、職業資格取得講座を選択できる。(久比岐高校)
- ・検定対策講座 (村上桜ヶ丘)
- ・テーマごとに分けることはせず、クラス単位で各々の課題に取り組ませている。担当者は1クラス2名で、夏休みに3,000字をまとめ、最後には6,000字の論文を書かせ発表させる。(長岡商業)
- ・日商簿記、会計、原価計算、情報処理、秘書、販売士、小論文の7講座で行い、6月の検定で合格した生徒は講座の変更を認めている (三条商業)
- ・上級簿記、上級情報 (ITパスポート)、上級電卓、コンピュータ活用(エクセル) (VB)、商品開発、小論文、ビジネスマナーの7つ (新発田商業)

